

令和 2 年度事業報告

社会福祉法人 太陽の会

1. はじめに

法人の事務局作業の整理のための下準備を行った。

2. 今年度の取り組み

(1) 太陽パン業務の整理、縮小、分担、移譲

パン製造計画、パン生地製造（ボランティアに任せ）、朝の会、備品購入は移譲できた。
課題としては、生地製造の職員への移譲、販売量がもとにもどったときに対応できるかどうかである。

(2) 法人業務の整理・簡略化

ファイル整理の取りかかり、会議の郵送化、PC 作業効率化取りかかりは行えた。
パン関係や支援関係（業務の内外不問）が増えれば手に負えなくなる。代わりがないという課題は残る。

(3) 管理者業務の整理、簡略化、分担、委任

通常業務のみ行えた。作業時間が減少したことをどのようにカバーするかという課題が残る。

(4) 虹工房の状況把握

経営状態の把握はできた。

(5) 評議員会

6 月に前年度事業報告・決算報告等の書面によるみなし評議員会を実施した

(6) 理事会等

別紙のとおり開催した

(7) 資格取得と給与との関連の検討

原案を作成したが可決までには至らなかった。令和 3 年度に持ち越す。

(8) 主な定例業務

以下の定例業務を行った

- ①福祉職員の処遇改善加算等の申請・報告
- ②退職掛金対象職員届
- ③工賃実績報告
- ④労働保険料届(社会保険労務士)・支払
- ⑤社会保険報酬月額届(社会保険労務士)
- ⑥社会保険賞与額の届(社会保険労務士)
- ⑦時間外労働時間労使協定の届(社会保険労務士)
- ⑧給与等計算(税理士)
- ⑨給与等支払
- ⑩月次決算(税理士)
- ⑪年末調整(税理士)
- ⑫リース契約の管理
- ⑬保険契約の管理
- ⑭その他契約の管理

令和2年度事業報告

就労継続支援B型 太陽パン

行動指針

1. 私たちは、一人ひとりが主役の事業所をめざします。
1. 私たちは、社会の中での生活を感じられる事業所をめざします。
1. 私たちは、「協力し合う」、「規則を守る」、
楽しく、厳しく、温かい事業所をめざします。
1. 私たちは、出来ることを一步步増やし、
社会の中で生活する力をつけるよう指導・支援します。
1. 私たちは、一人ひとりに目配り、気配りし、
気持ちが伝わり合いながら指導・支援します。
1. 私たちは、交流の場を拡げ、
社会の中で障害者への理解が進んでいくことをめざします。
1. 私たちは、指導・支援することにより、私たち自身も成長していきます。

はじめに

(1) 令和2年度の振り返り

- ①「障害等の有無にかかわらず、仕事をするを通して社会参加し自身の存在価値の表明と実感を得ることを支援していきます」
→令和2年度も行うことができた。
- ②各人の本分を全うするためにそれぞれの作業の最適化を行います
→完全ではないが、成長はしてきている。

令和2年に入ってからイベントが軒並み中止になり、平成31年度は700万円以上あった就労収入が560万円程度まで落ち込んだ。工賃についても平成31年度は約25,000円であったが約18,000円まで下がった。

(2) 所員の状況(令和2年3月31日時点)

- 13名(最高齢66歳、最年少28歳、平均45.8歳)
5月に1名退所し、11月に1名入所しました。
1名、同居のご家族が亡くなられ生活環境が不安定になっています。

(3) サービス費等(平成31年度から)

- ①就労継続支援B型サービス費Ⅰ-1 589単位 × 出勤日数
- ②重度者支援体制加算Ⅱ-1 28単位 × 出勤日数
- ③福祉・介護職員処遇改善加算Ⅲ 285単位 × 1

1. 就労支援活動

所員が責任を持って作業できることを念頭に置いて製造・販売を行いました

(1) 製造

① パン作業工程と所員・職員の作業割合

	作業工程	所員	職員	令和2年度の実績
1	調味(粉)	9	1	新たな課題が現れた
2	調味(味付け)	0	10	職員不足のため未実施
3	パンの捏ね	0	10	安全面の課題が残る
4	分割	5	5	未実施
5	成形	7	3	基本である、ロールパンの成型に力を入れた
6	焼き	9	1	現状どおり忙しいときは2人体制でサポートをした
7	袋入れ	5	5	分担して作業を行えた
8	仕分け	0	10	職員がすべて行った
9	あんこづくり	6	4	職員のサポートが必要な場面が増えた

② クッキー作業工程と所員・職員の作業割合

	作業工程	所員	職員	令和2年度の実績
1	調味	7	3	分担して作業を行えた
2	生地作り	0	10	職員がすべてを行った
3	計量 成形	8	2	分担して作業を行えた
4	焼き	9	1	り忙しい時は2人体制でサポートした
5	袋入れ	7	3	参加できる場面が増えた
6	袋入前一時保管	7	3	分担して作業を行えた
7	在庫数管理	0	10	職員がすべて行った

(2) 販売

① 販売の流れと所員・職員の役割

	販売の流れ	所員	職員	令和2年度の実績
1	準備	8	2	所員、職員共に連携して行えた
2	会計 袋入れ	8	2	所員が責任感をもって行えた
3	接客	6	4	所員が責任感を持って行えた
4	集計	0	10	職員がすべてを行った

② 販売形態

a. 店頭販売(太陽パン店舗前で所員が販売)

ワゴン

b. 出張販売(販売先で所員・職員が販売)

[毎週] アシスト21(火)、ウェル戸畑(木)、富士通、~~正和中央病院(金)~~

[月2回] ~~共生学舎~~、ちづる園、永犬丸西放課後児童クラブ

[月1回] まごころ、~~きらきらディサービス、イオン~~

~~〔2～3ヶ月に1回〕筑豊市場〕~~

〔不定期〕~~市民センター~~、中央高校、南立

c. 納品（販売先に商品を所員・職員が届ける）

〔毎日〕山九

〔週2～3回〕JCHO九州病院、杉の実保育園、中央しおり保育園

〔月1～2回〕ビストロR、BOCCHI、あおとり、

~~喫茶やすらぎ、引野ひまわり学園、療育センター西部分所~~

〔年1回、不定期〕金剛山寺、皿倉ウォーク、高見の森保育園、槻田杉の実保育園、エ
コタウン 等

d. バザー・イベント（販売先で所員・職員が販売）

~~〔4月〕荒生田フェスタ（延期の後、本年度中には行われなかった）~~

~~〔5月〕皿倉ウォーク〔7月〕高齢化バザー〔8月〕エコタウンまつり~~

~~〔9月〕ソロプチミスト〔10月〕穴生学舎大学祭、視覚特別支援学校バザー、~~

~~ちづる園まつり、ゆたかサンフェスタ、引野ひまわり〔11月〕健康フェスタ、~~

~~福祉機器展、レク協バザー、戸畑技術高専、則松市民センター~~

~~〔2月〕ボランティアフェスタ〔3月〕青葉市民センターバザー※さくらまつり~~

あんぱんパーク〔3月、11月〕、ボッチイベント〔12月〕

（3）洗剤

売上を上げるため、5月から「ほっとホワイト」の販売を始めました。

3. 福祉活動

（1）健康管理

所員の健康の維持、促進のため次のことを行いました

- ① ~~健康診断~~（コロナ騒動のため行わなかった）
- ② 体重測定
- ③ 服薬管理
- ④ 健康状態の観察・把握（体調面を考慮しての作業調整）
- ⑤ 歯磨き支援
- ⑥ 衣類調節等の支援
- ⑦ トイレ誘導（排泄状況の把握等、声掛けも含む）

（2）研修

a. 研修旅行

- ① コロナ騒動のため行えなかった

b. 施設研修

- ① 施設研修の実施（コロナ騒動のため行えなかった）
- ② 防災施設見学と体験（コロナ騒動のため行えなかった）

c. 教養研修

9月4日 市立美術館にて 『風景画のはじまり コローから印象派へ』鑑賞

11月18日 大蔵市民センターにて 中村哲パネル展

(3) 親睦

他者との交流により親睦を深めていきます

①~~かめの子クリスマス会参加（12月）~~

②忘年会（12月）

(4) その他

手話歌については、要請により各イベント等で活動します

①手話歌コンサート出演（11月23日）

②~~スクールコンサート出演~~

③そば打ち体験（2月）※今回は水盛さんが打ったそばを湯がいて食べるのみでした

4. 支援活動

(1) サービス管理

家庭との連絡を密にし、支援内容の充実を図った

①個別面談（所員とのみ行った）

②家庭訪問（必要に応じて）

③自宅への送迎（体調面を考慮したうえで不良時）

④保護者への連絡（連絡帳でのやりとり）

⑤事業所との面談（各種サービス事業所との連携）

⑥出勤状況、作業内容の記録

(2) 職業指導

所員個々に応じた作業内容の確認と助言を行った

a. 製 造

①パン・クッキーの作り方の助言

・各種別のパンの作り方の助言

・調味、粉はかりの仕方の助言

②作業に使用する道具等の使い方の助言

・各種袋入れルール

b. 販売

①接客マナーの助言

②販売用紙の記録方法助言

③会計について助言

(3) 生活支援

所員のＱＯＬ、自立生活に向けての支援を行った

- ①身だしなみ、衣類調節等の支援
 - ②小遣い帳の記録（随時）・小遣いの使い方支援
 - ③時計の見方
 - ④バス通勤の指導・支援
 - ⑤意思伝達、会話等の支援
 - ⑥連絡帳
 - ⑦個別ノートによる記録物の支援
 - ⑧家庭での過ごし方などの傾聴
 - ⑨携帯電話の使い方の助言
 - ⑩人間関係、他者とのコミュニケーション方法の支援
 - ⑪相談等への傾聴
- ① 「手をつなぐ」誌の購読（未実施）
 - ② 各種必要とするサービスへの情報提供と支援

5. 地域活動 ※中止はコロナ騒動のため

(1) 祝町拠点

- ~~①荒生田フェスタ~~
- ~~②筑豊市場~~

(2) 祇園町拠点

- ~~①前田さくらまつり~~
- ②八幡中央高校との交流
~~文化祭、体育祭~~ ※4月と5月に販売を行った
- ~~③ウォーキング清掃~~
- ④公園清掃
4/25、6/5、10/24（地域の方々からの提案で一緒におこなった）
花植え（6/11、11/16）
※12月から年度末まで公園改修工事
- ~~⑤町内盆踊り会参加~~
- ⑥ワゴン販売

(3) その他

6. 研修・防災

(1) 研修(2ヶ月に1回行えた)

データの読み方や情報のトリック、人間の心理傾向などについての研修を行った

令和2年度 実績	4月	データの見方
	5月	
	6月	風邪のこわさ
	7月	
	8月	テレビの情報の偏りについて
	9月	
	10月	健康とは何か(死や障害について)
	11月	
	12月	オルテガ「大衆の反逆」読本
	1月	オルテガ「大衆の反逆」感想文提出
	2月	
	3月	所員に緊急事態が起こったため中止(予定:「大衆の反逆」についての意見交換)

(2) 防災

防災に関する意識を高めると共に定期的な防災訓練を行った

①火災訓練(9月4日、美術館鑑賞後)

所内にて単独の避難訓練を行った。

②防災訓練(3月頃)

福岡市防災センターにて火災・地震・水害の訓練を行う予定だったが、コロナ騒動で中止。所内にて避難訓練を行った

7. 保護者会

実施しなかった

8. その他

(1) 職員の健康管理

- 健康診断

(2) 職員会議等

臨時会議(随時)のみ行えた

令和2年度 太陽パン行事

4月	中央高校での販売 芸術活動、公園掃除
5月	中央高校での販売 芸術活動、カレー作り
6月	
7月	実習受け入れ
8月	パン作り交流会
9月	消防点検、消防立ち入り調査 美術鑑賞、避難訓練
10月	
11月	あんぱんパーク 渡辺知子コンサート参加、鑑賞
12月	ボッチイベント 忘年会
1月	そば、ぜんざい
2月	
3月	あんぱんパーク

令和2年度事業報告

就労継続支援B型事業所 虹工房

「行動指針」

1. 私たちは、一人ひとりが主役の事業所をめざします。
1. 私たちは、社会の中での生活を感じられる事業所をめざします。
1. 私たちは、「協力し合う」、「規則を守る」、楽しく、厳しく、温かい事業所をめざします。
1. 私たちは、出来ることを一歩ずつ増やし、社会の中で生活する力をつけるよう指導・支援します。
1. 私たちは、一人ひとりに目配り、気配りし、気持ちが伝わり合いながら指導・支援します。
1. 私たちは、交流の場を拡げ、社会の中で障害者への理解が進んでいくことをめざします。
1. 私たちは、指導・支援することにより、私たち自身も成長していきます。

1. はじめに

(1) 令和2年度の総括

- ①今年度は新型コロナウイルス一色でした。緊急事態宣言が発令され4月1日より6月28日まで3密を避けるために時差出勤をしました。所員1名は糖尿病の基礎疾患があり、本人の希望で4月13日から8月27日まで在宅就労をしました。また、バザーの出店や地域の行事にも一度も参加できませんでした。
- ②今年度も巡回スポーツ教室に参加予定でしたが、緊急事態宣言が発令されたり所員の体力的な問題で辞退したりしたので一度も参加できませんでした。
- ③新型コロナウイルス感染予防の為に1日2回の検温と血中酸素濃度の測定・アルコール消毒を徹底しました。また、所員全員に自宅用と携帯用のアルコールを渡し、感染予防を意識づけました。
- ④地域貢献の為に毎週2回ゴミ置き場の掃除と事業所周辺のゴミ拾いをしていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防の為に不定期に行いました。
- ⑤年度初めに5年程勤務していたパート職員2名が相次いで退職しました。
新しいパート職員2名が採用されたのですが、1名は5か月働いてもらいましたが事業所と合わずに契約更新しませんでした。もう1名は1月中旬に家庭の事情で長期休暇となりました。最重度の所員もようやく慣れた所で職員が変わるので落ち着きませんでした。2月に1名パート職員が新規採用されました。
- ⑥所員の紹介依頼の為に小倉北・小倉南・八幡東区役所の保護課就労支援係を訪問しました。また、各相談支援事業所に電話をし、時間を取って頂ける所には直接

会って紹介をお願いし、お忙しい所にはポストに事業所のリーフレットを入れさせていただきました。ホームレスサポートセンターには事あるごとに紹介を依頼しています。以前お願いした民生委員の会議には新型コロナウイルス感染予防のため入れませんでした。事業所の窓にも“利用者様募集中”のポスターを貼りました。暗かった外観も窓にシール等を貼り明るい雰囲気になろうと取り組んでいます。（3月末には完了予定）また、市民センターなどに置いてもらおうとチラシ作りの案を話し合っています。

- ⑦前年度から精神的不調が続いていた所員（S氏）が5月2日・20日と外出時に転倒し救急搬送されました。その後も精神科の薬の重複服用が原因で認知症様症状が出たり、立てなくなったりして9月には大手町病院整形外科、10月には南ヶ丘病院精神科に入院しました。1月18日には南ヶ丘病院を退院する予定でしたが、1月3日に意識が無くなり大手町病院に救急搬送されました。痙攣をおこし両方の骨盤と右肩を骨折していました。両骨盤からの出血が原因で意識が亡くなったとの事です。
- ⑧所員の高齢化が進み、今までできていた作業ができなくなっています。また、体調不良を訴える所員も多くなっています。買い物の帰りに自転車で転倒し足の指を骨折した所員もいます。日常の変化に気を付けながら支援を続けました。
- ⑨今年度は事業所内では職員の勉強会を行いました。新型コロナウイルスの影響で外部研修には1度も参加していません。
- ⑩前年度は4回一時金を出せましたが、今年度はバザーに1度も出店できず収入が少なかった為お年玉の1回だけになりました。
- ⑪7月に精神科の入退院を繰り返し、不調が続いていた女性所員が退所しました。

（2）所員の状況

	男性	女性	計
4月	6名	3名	9名
5月	6名	3名	9名
6月	6名	3名	9名
7月	6名	3名	9名
8月	6名	2名	8名
9月	6名	2名	8名
10月	6名	2名	8名
11月	6名	2名	8名
12月	6名	2名	8名

1 月	6 名	2 名	8 名
2 月	6 名	2 名	8 名
3 月	6 名	2 名	8 名

- ・ 7 月に女性所員 1 名が精神的不調で退所しました。
- ・ 男性所員（S 氏）が 5 月と 9 月に整形外科・ 10 月に精神科に入院しました。
1 月に精神科に入院中、意識不明で総合病院に救急搬送されました。骨盤からの出血が原因でした。退院のめどは立っていません。

2. 就労支援活動

(1) 作業

a. アーランド

①フィルターの袋詰め

- ・ 換気扇
- ・ エアコン
- ・ バスポンプ
- ・ 洗濯機

②フィルター以外の袋詰め

- ・ 補修テープ
- ・ 滑り止め

b. コマツパッケージ

①湖月堂の箱作り

②湖月堂以外の箱作り

- ・ すずかけ
- ・ ツマガリ

③仕切り組み

- ・ すずかけ
- ・ ツマガリ

[エピソード 1]

- ・ お菓子の仕切り折り・仕切り組みの作業を“自分の作業”とばかりに率先してやってくれる所員がいます。作業に自信と責任を持って臨んでいる姿を嬉しく思います。
- ・ 最重度の所員に今までやった事のない作業にチャレンジしてもらいました。試行錯誤を繰り返し機嫌よくやり遂げました。これからも失敗しても良いので色々な作業にチャレンジして欲しいと思います。

- ・体調不良を訴えながらも毎日短時間でも出勤する所員がいます。2月になり「無責任ですが休ませてください」と連絡があった時は、本人なりに目標を持って無理をしてでも頑張っていたのだらうと思うと自分達も仕事に対する姿勢を見つめ直さないといけないと思いました。
-

3. 福祉活動

(1) 健康管理

健康な生活を長く過ごせるように変化を見ながら支援しました。

今年度は、毎年楽しみにしている巡回スポーツ教室や市民センターの体操教室は新型コロナウイルスの影響で中止になりました。

- ①健康診断（11月27日）
- ②体重測定（毎月料理教室時）
- ③ラジオ体操（不定期）
- ④体温測定・血圧測定・血中酸素濃度測定（毎日出勤時・昼食後）

(2) 1泊研修旅行

新型コロナウイルスの影響で中止でした。

(3) 親睦

所員と職員間、所員間、職員間の関係向上を図るために行いました。

- ①忘年会（12月28日）
- ②新年会（1月4日）
- ③茶話会（7月24日・8月8日・9月22日・1月16日・30日）

毎年楽しみにしている親睦バーベキューは
新型コロナウイルスの影響で中止しました。

[エピソード2]

- ・字の読み書き、血中酸素濃度の見方が解らない所員がいます。皆で協力して記録表に記入しています。「熱が少し高いんやないね」「酸素が足りんよ。もう一回測り」と声掛けもしてくれる朝の楽しいひと時です。
 - ・今年度は行事が何もできなかったのですが、茶話会・忘年会・新年会ではゆっくり色々な話ができました。話すときには“マスク”と声を掛けながら新型コロナウイルス感染予防に注意しながら食事ができました。
-

4. 支援活動

個々人の特性に応じた支援を続けていきました。個々人への支援と全体のバランスが

難しい課題です。

(1) サービス管理

本人が望む生活を続けられるようにサービス管理を続けました。

- ①支援計画書作成（5月）
- ②モニタリング（1～2か月ごと）
- ③カンファレンス（受給者証更新月など随時）
- ④相談支援事業所の相談支援員との連携（随時）
- ⑤自宅への送迎（体調面・安全面を考慮したうえでの）
- ⑥保護者への連絡（随時）
- ⑦出勤状況・作業内容の記録（毎日）

(2) 職業指導

働く意味・意義を知るため、また、障害を持った人が行きていく力を付けるために次の事を行いました。

- ①完成品の質向上の為の検査を指導
 - ・ミスを少なくするために自分たちでチェックする
 - ・集中力を付ける、集中力を鍛える
- ②職業行動支援
 - ・職場でのふるまい方
 - ・距離感
 - ・融通が利くか等

(3) 生活支援

健康的で自立した生活を続けるために次の支援を続けました。

特に②について、受診を嫌がる人がいるので定期的に受診を薦めました。

また①と②を併用して支援を続けました。

- ①服薬チェック（毎日）
- ②通院勧奨（随時）
- ③金銭管理（小遣い帳記入・随時）
- ④買い物支援（おもに月・水・木曜日）
- ⑤身だしなみ指導（清潔感のある服装・場合によりコインランドリー同行）
- ⑥S S T（ソーシャル・スキル・トレーニング）

* S S Tとは・・・人が社会でほかの人と関わりながら生きていくために
欠かせないスキルを身につける訓練のこと。

次のようなことを随時行っていきました。

- ・適切なタイミングで適切なあいさつの言葉を発する事が出来るようになる。
- ・「ありがとう」「お願いします」等の言葉がスッと出るようになる。

- ・一つの商品を皆で協力して作り上げる。

⑦バス通勤の支援

[エピソード3]

- ・毎日体調不良を訴えている所員がいます。片づけ方が解らず自宅がゴミ屋敷の様になっているので生活環境から改善しようと相談支援員・ケアマネージャー・ホームレスサポートセンター職員と連携を取り、ようやくヘルパーを利用するよう説得できました。少しずつでも改善されれば良いと思います。
- ・今年度3回入院したS氏が自宅で生活をしている間、相談支援員・ケアマネージャー・訪問看護師・訪問ヘルパー・ホームレスサポートセンターの職員と毎日連携を取りながら無事過ごせました。連携の大切さを痛感しました。
- ・高齢化に伴い服薬が増えています。複数の病院・診療科から出ている薬を仕分けして渡しているのに服用していない時があります。自立した生活をするためには服薬チェックはこれからも必要だと思います。

5. 地域活動

昨年度に引き続き、地域との繋がりを大切にしました。

- (1) 前年度まで毎週2回(月・木)事業所近くのゴミ置き場・周辺のゴミ拾いを続けていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染予防のため不定期に行いました。
健康増進・気分転換も兼ねて行いました。
- (2) バザー等への参加・見学
今年度は新型コロナウイルスの影響で
今まで出店していたバザーは全て中止になりました。
- (3) 城野市民センター活動への参加
今年度は新型コロナウイルスの影響で1度も参加できませんでした。
今年度も敬老会のお弁当に爪楊枝入れを付けてもらおうと春から制作にかかっていましたが、新型コロナウイルスの影響でお弁当の配布が中止になりました。
- (4) 利用者の紹介を依頼するための繋がり
 - ①相談支援事業所
 - ②区役所・保護課就労支援担当
 - ③ホームレスサポートセンター

[エピソード4]

- ・今年度は一度も地域の行事に参加しませんでした。餅つき会があったと「まちづくり協議会」の事務長さんが丸餅を届けてくださいました。前年度まで地域の行事

に参加したことで虹工房の事を気にかけてもらえるようになりました。

- ・同じビルに住む老婦人が「退院したから挨拶に来た」と挨拶に来てくれました。所員に気軽に声を掛け会話を楽しんでいました。別の老婦人も困った事があると尋ねてきます。「あんたのどこだけが頼りよ」と言っていました。同じビルの人が気軽に訪ねて来てくれる場になったと思います。
- ・学校帰りに立ち寄る小学生が増えました。㊦「ただいま」㊦「おかえり」㊦「お仕事頑張ってください」㊦「ありがとう。気をつけてね」と、何気ない会話に所員も癒されています。所員も下校時を楽しみにしています。
- ・城野校区の敬老会のお弁当に手作りの爪楊枝入れを付けてもらおうと春から450個程の水引を作っていた所員が、お弁当を配るのが中止になったと聞くとガッカリしていました。来年度はコロナが収束して所員が作った爪楊枝入れを使ってもらえれば良いと思います。

6. 研修・防災

(1) 職員研修

a. 社内

毎月勉強会を行いました。

b. 社外

今年度は新型コロナウイルスの影響で社外研修には参加しませんでした。

月	日	内容
4	23	「知的障害者の老後に対する親達の不安に関する調査」からみえてくるもの
5	21	統合失調症についての勉強会
6	12	統合失調症についての勉強会
7	7	大人の発達障害を見分ける10のチェックポイント キーワードは「代償」と「誤学習」
8	13	人に伝える技術を学ぼう
9	16	MCA イギリス「意思決定能力法」
10	29	介護保険と福祉サービスの関係 高齢化で身体・認知機能はどうなる？
11	20	コロナウィルス騒動に対しての考え
12	21	災害支援の今とこれから
1	12	新型コロナウイルス感染症の“いま”についての10の知識
2	16	ノーマライゼーションの詩
3	2	災害時サポートマニュアル

(2) 防災・救急

a. 防災による短縮

(1) 市内小中学校が短縮の時や避難準備発表の時は短縮としました。

7月10日・・・大雨の為短縮

9月7日・・・台風接近の為閉鎖

1月7日・・・暴風雪警報の為短縮

1月8日・・・暴風雪警報の為閉鎖

b. 防災訓練

①事業所での避難訓練（1月11日）

②事業所での火災訓練（3月3日）

[エピソード5]

- ・北九州市に避難確保計画を提出した数日後に、水道管凍結の為に短縮となり帰宅することになりました。避難訓練も兼ねてスムーズに帰宅ができて良かったです。
（避難確保計画では、対象災害が洪水になっている為、避難場所へは行かず帰宅することになっている）
-

理事会詳細

第 63 回理事会 書面による決議 決議があったとみなされた日 R2.6.10

議案 ①令和 2 年度事業報告 ②令和 2 年度決算報告 ③令和 2 年度監査報告

④役員の推薦 ⑤給湯器設置

第 64 回理事会 書面による決議 決議があったとみなされた日 R2.10.30

議案 ①令和 2 年度前期活動報告 ②令和 2 年度前期決算報告

第 65 回理事会 書面による決議 決議があったとみなされた日 R2.12.17

議案 ①交付金による備品の購入について

第 66 回理事会 書面による決議 決議があったとみなされた日 R3.3.31

議案 ①令和 3 年度事業計画（案） ②令和 3 年度予算（案） ③評議員の推薦